

企業版ふるさと納税を活用した明石まちなか図書館等の実績報告 及び今後の事業展開について

1 概要

本市では、2020年(令和2年)度に信金中央金庫(以下「SCB」という。)が、地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)の仕組み等を利用して創設した「SCBふるさと応援団^{※1}」に、日新信用金庫から推薦を受けた「明石まちなか図書館」事業が選定され、2020年(令和2年)度から2022年(令和4年)度の3か年にかけて事業を実施しました。

※1 「SCBふるさと応援団」は信用金庫の本店所在地の地方公共団体が行う事業が対象

2 実施した事業(全体事業費：10,280,011円(寄附金10,000千円+一般財源))

2020年(令和2年)度から2022年(令和4年)度にかけて下記の事業を実施しました。

(1)明石まちなか図書館の設置

日新信用金庫の市内本・支店10店舗内への図書
(各店舗約100冊)及び書架の設置



(明石まちなか図書館 設置状況)

(2)ブックスポット事業

①つながる本棚「hito-haco」の設置
(アスパア明石8階ウィズあかし内)

②「明石まちなかブックスポットMAP」の改訂
(10,000部作成、掲載数69か所)

③「本のまち発信!つながる本棚・ブックスポット
MAP完成お披露目会」の開催

④ブックスポットを運営する施設への助成
(上限20万円・助成20施設)を実施

⑤ブックスポットを運営する人と人をつなぐ
イベント、先駆者講演などを実施



(つながる本棚「hito-haco」 設置状況)

3 今後の展開について

「いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば本に届くまち」のさらなる推進を目指して、今年度も引き続き「ブックスポット事業」を実施します。

事業実施に際しては、ブックスポットの設置拡大にあたり、市民の多様な取組を支援できるよう、(一財)明石コミュニティ創造協会への補助事業として実施します。

また、事業費に「明石市本のまち基金」の一部を充当し、令和5年度から5年計画での市内のブックスポットへの支援や交流イベント、講演会などの実施を予定しています。